

テニス競技規則

1. 競技規則 (財)日本テニス協会2007年版競技規則による。(以下JTA競技規則)
2. 競技種目 男子・女子ともシングルスとダブルスの合計4種目とする。
3. 出場資格 (1)出場人数について、各都県に制限を設けない。
(2)ダブルス種目で1人だけ余剰の選手は他都県の選手と組む事が出来る。
申し込む場合は、選手2人が申し合わせの上、体育部長及びテニス部長、監督の承認を得ること。
ダブルス同意書は選手登録申請と同様、通常締め切りとする。但し、シード権対象者は除外とする。
(3)通常締め切り後の追加・キャンセル・取消は原則として認めない。
4. 競技方法 (1)各種目ともリーグ戦又は、トーナメント方式とする。但し、申込数により決定する。
(シングルス戦の場合1日1人あたり男子6試合女子5試合を限度とする。)
(2)シード順位は昨年度関東ろう者体育大会成績を対象とする。
(3)1セットマッチ6ゲームオール7ポイント・タイブレークとする。
(4)JTA 競技規則第三部トーナメント諸規程・諸規則等7.チェアアンパイアのつかない試合規則を全て適用する。よって、適当数のロービングアンパイアを置かなければならない。
但し、各種目とも決勝・3位決定戦は主審とネットアンパイアの2人制とする。
5. 申し合わせ事項 (1)競技方法(1)について、運用方法は内規のとおり適用する。
(2)コートはオムニとする。
(3)試合は、発表されたオーダーオブプレーに従い、遅滞無く続けなければならない。
(J T A 競技規則による。)
(4)試合開始前のウォーミングアップは、3分間とする。但し、試合進行状況により変更する場合もある。
(5)使用したボールの処分は実行委員会の判断による。
(6)競技服装はJTA 競技規則による。
(7)雨天の場合、実行委員会(本部)が判断する。
(8)テニス競技サイン事項(競技サイン図)
6. 使用球 公認ボール(ダンロップフォートイエロー)とする。
7. 表彰 各種目とも、1位から3位までに賞状・メダルを授与する。

8．組み合わせ抽選 監督・主将会議の当日、JTA 競技規則及び内規に従って抽選を行なう。

9．そ の 他 (1) 打ち合せ等で意見があれば検討の上、決定する。
(2) スポーツ傷害保険等は、各自において加入しておくこと。

●手話カウントコール(ゲーム及び競技に最低の必要なコール)●

◆ポイント



0 (ラブ)
指全部で0をつくる。
(指文字の「お」)



15 (フィフティーン)
1とし、人差し指を1本
立てる。



30 (サーティー)
2とし、人差し指と
中指の2本を立てる。



40 (フォーティー)
3とし、人差し指と中
指と薬指の3本を立てる。



デュース
片手で器(コップ)
を持ち、飲むしぐさ
をする。



アドバンテージ
こぶしを握り、親
指を立て(指文字
の「あ」)をその
得点プレーヤーに
むける。

◆コール



「アウト」「フォルト」
又は「ダブルフォルト」
は片手を高く上げて示す。



「グッドボール」
「イン」
腕を伸ばし、手のひ
らを下に向け、胸よ
り下に示す。



サービス
サーブの格好
をする。



プレイ

レット



第1サービスの
時は2本立て



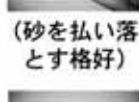
第2サービスの
時は1本立てる。



「タイブレーク」
両コートに対して
両手で「同点」の
手話で示す。

両手を肩より高く上げた後、片手の手の
ひらをひらき(ネットを意味する)、も
う一方の手は握り(ボールを意味する)ネ
ットに触れた様子を示す。そして、指を
第1サービスの時は2本立て
第2サービスの時は1本立てる。

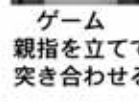
やり直し



(起き上がる)



「ノットレディー」
及び「タイム」は、
両手で「T(ティー)」
の形で示す。



終了



「エンドの交替」
両手を左右に伸ばし
それを左右に交差さ
せる。



ありがとう
(左手甲に直角)

手話の表現は個人の差がありますので
予め、了承をお願いします。